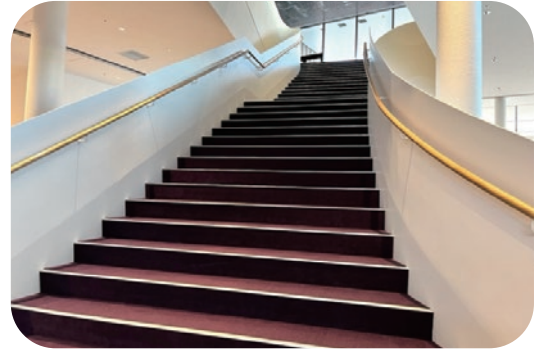


㉞ 「TETTO では何が出来るの？その2」 2023/12 「RE:TETTO」 No.72

私がこのコラムを書き始めたのが令和3年の4月。その年の7月に「TETTO では何が出来るの？」というタイトルで、ちょっと変わった利用方法をいくつかご紹介したことがあります。その後、コロナ禍となってしまう、利用者のイベント開催等が難しくなったことなどもあり、ごく一般的なホールの運用や貸館が続いていました。しかしながら、ようやくコロナ禍を経て、TETTO にて念願の「結婚式(披露宴)」をして下さった素敵なご夫妻がいます。ホールBの壁を両サイドオープンし、屋根のある広場にも客席を配置、そして「レッドカーペット」ならぬ「レッドステアーズ(えんじの大階段)」からの入場！など、招待客だけでなく、他のイベントで居合わせたお客様や通りすがりの多くの市民の皆様からも祝福されていたのがとても印象的でした。皆さんもオリジナリティあふれる利用をしてみませんか？いつでもご相談に応じます！



㉞ 「かまいしの第九 final concert」 2024/1 「RE:TETTO」 No.73

第44回かまいしの第九が final concert として2023年「12月17日」に開催されました。私も光栄なことにオーボエ奏者として参加させていただきました。ベートーヴェンの誕生日は12月16日という説が有力ですが、実は正確な記録はなく、洗礼(キリスト教徒になる儀式)を受けた日が「12月17日」であることだけが事実として残っています。その記念すべき日に、第九の歌詞にあるように、神の力や神の愛で世界が歓喜にあふれる、そんな世界平和にも繋がる素晴らしい音楽がいっぱいに響き渡りました！終演後はやりきった笑顔、そして涙・涙。本当にこれで終わっていいの？かまいし第九実行委員会は解散となりますが、演奏者も観客の皆さんもきっと、これでよいはずがない、と感じているのではないのでしょうか？新たな救世主は現れるのか？今後の釜石の音楽界の動向が注目されます。



㉞ 「アウトリーチをご存じですか？」 2024/2 「RE:TETTO」 No.74

皆さん「アウトリーチ (outreach)」という言葉をご存じですか？日本語に訳すと「手を差し伸べること」という意味で、医療や福祉の分野では在宅の患者や要介護者を訪問して社会生活を支援する活動(訪問支援)という意味で使われています。それではTETTO でやっているアウトリーチとは？なかなかホールに出向くことができない市民の皆さんに、ホールのほうから伺って出前コンサートなどを行うことをいいます。現在は学校や公民館施設などをお願いし、年間4公演ほどのミニコンサートを実施していますが、市民の皆様からのご要望があれば(日程が合えばですが)どこにでも出向いて開催いたします！ホールとは違って、間近で演奏者の生の演奏が聴けますし、演奏者との交流の場を設けることもできます。ご興味がある方は是非一度TETTO までお問い合わせください。



2023年9月 唐丹小学校

㉞ 「釜石から能登を想う」 2024/3 「RE:TETTO」 No.75

釜石市民ホールでは令和6年1月1日16時10分に発生した「能登半島地震」への災害義援金を募るためチャリティバザーを1月と2月に行いました。当館職員の発案で、募金箱を設置するだけでなく「チャリティバザー」として展開。各自、洋服・雑貨・本・CD・DVDなどを持ち寄り、それを持ち帰るにあたっての「お気持ち」を募金箱に入れていただくかたちをとったところ、ホールにお越しいただいた皆様より、心温まる募金をたくさん頂戴いたしました。集まった募金につきましては、1月分(27,551円)を石川県庁へ、2月分(40,733円)を能登にキッチンカーで温かいコーヒーを届けている釜石のハピスコヒーさんのサポート資金として使わせていただきました。これからも皆様のご協力、宜しく願いいたします。

